

# 令和7年度 自己評価結果

さくら幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・丈夫な子ども
- ・心豊かな子ども
- ・意欲のある子ども

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

家庭との信頼関係を築き連携して、どの子ども生き生きと活動できる教育の実践を目指す。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	魅力ある教育の開発に努め、カリキュラムの充実を図る。	C	基本的な生活習慣の指導の徹底に努めることができた。新しい活動を取り入れたことで子どもたちの成長がみられた。子どもの様子についてさらに共通理解できるようにしたい。
2	未就園児教室やホームページ等の広報方法を検討し、広く周知する。	C	新しいホームページやInstagram等工夫したが、十分な広報とはならなかった。もっと活用できるようにしたい。
3	園務分掌の役割や行事の打ち合わせ、職員会議等に積極的に取り組む。	B	職員全員で行事の見直しの話合いができ、内容を理解しながら行事を進めることができた。話合いは全員が揃っている時間に行うようにしたい。
4	安心・安全な教育環境の整備に努めるとともに、家庭養育の重要性について啓発する。	B	リスク管理マニュアルに基づいて、安全な教育環境を整備することができた。仲よし学級や家庭教育学級、園だより等で家庭養育のヒントを伝えることができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	各クラスの子どもたちの発達に合わせて、教育活動を見直したり、工夫したりすることができたが、全職員で共通理解しながら取り組むことは十分ではなかった。幼稚園の魅力発信のためのツールを増やすことはできたが家庭や地域との連携にうまく活用できなかった。また、リスク管理マニュアルを整備し安全な環境づくりに努めた。継続して安全対策に取り組む必要がある。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	魅力ある教育活動の開発、カリキュラムの改善	教育活動のPDCAを実行し、教育内容やカリキュラムの向上を目指す。また、内容や方法について、全職員で共通理解できるよう体制づくりを進める。
2	募集・広報の工夫	園の魅力・特色を発信するためのSNS活用やその他の広報方法を工夫するとともに、ニーズに合った未就園児教室のあり方についても検討を行う。
3	安全・安心な教育環境の整備	施設・設備の定期的な安全点検を継続するとともに、安全な遊び方や日常生活について職員間で情報交換する機会をもつ。

## 6. 学校関係者評価委員会の意見

登園渋りに関して、市内の小中学校でも不登校が増えている状況にあります。原因は様々ですが家庭との連携、幼小さらには地域との連携を密にして、スマホやゲームに頼らない子育て、親子の愛着関係構築などに取り組んでほしいと思います。施設設備の安全対策は法人と相談しながらしっかりと行ってください。また、SNS発信の方法を検討して、これからも広くさくら幼稚園の強みをアピールしてください。